

# 「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2023」を開催 ～実践的演習とセミナーでサイバーセキュリティへの対応力向上を～

総務省北陸総合通信局は、経済産業省中部経済産業局、(国研)情報通信研究機構、北陸経済連合会、北陸情報通信協会及び北陸サイバーセキュリティ連絡会との共催により、3月2日、3日の2日間にわたり金沢商工会議所においてセミナーと演習から構成する「『ビジネス』を護るサイバーセキュリティデイズ2023」を3年ぶりに集合形式で開催しました。

初日のPractice Dayは、サイバー攻撃への対処能力を磨く実践的演習「Micro Hardening」を開催しました。講師である(株)川口設計の川口洋氏の指導のもと、北陸3県の産官学から参加した48名が4名のチームに分かれ、架空の電子商取引サイトに対する様々なサイバー攻撃への対応方法を実地で学びました。各チームは白熱した雰囲気の中、45分の演習を3セット実施しました。

演習終了後は、サイバー攻撃への対応能力が最も高かった「イースト(株)、カナカン(株)、金沢工業大学の合同チーム」に対し、小津局長から最優秀賞を授与しました。

## 3月2日【Practice Day (Micro Hardening)】

Micro Hardening  
(サイバー攻撃対応  
トレーニング)に取り  
組む参加者



成績優秀チーム  
への表彰状贈呈

2日目のSeminar Dayは、サイバーセキュリティセミナーを開催し、70名が聴講しました。

北陸先端科学技術大学院大学の篠田陽一教授をファシリテーターに迎え、石川県商工労働部産業政策課の担当者が県内企業のデジタル化に関する意識紹介を、(株)FFRIセキュリティの中西克彦氏、EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)の森島直人氏、(株)川口設計の川口洋氏が、ランサムウェア攻撃への対応のポイントや、セキュリティ担当者や経営者が取るべき対策について、それぞれ講演しました。

続いて、トークセッションでは、参加者から寄せられた質問を契機に、サイバーセキュリティ対策のあり方や経営者の役割について篠田教授及び講演者が様々な視点から言及し、意見交換を行いました。

## 3月3日【Seminar Day (サイバーセキュリティセミナー)】



トークセッションの様相